

科目別学習法

英語

英語力をアップさせるために必要な事は、必修単語を正しく読み書きできるようにすることから始まります。そして教科書の中に出てきた基本的な英文に慣れ、その表現を利用して身近な事柄を自分自身で表現できるようになると自然と身について英語に対しての理解度が高くなります。英語は日常会話ではなかなか使う機会がないので、苦手意識を持つ人が多いですが、日本語と同じ意思伝達に必要な「言葉」であるという認識ができれば、文の内容からもっと英語を身近なものとして考えられるはずです。日常生活の中でも英語をそのまま日本語として使っている事もあります。試験で良い結果を出せるように毎日英語に触れる事を心掛けて下さい。

国語

現代文・古文・漢文とも、まずは精読することを心掛けましょう。演習した問題も答えではなく、「どうしてその答えになるのか」「この文章の要旨はどうまとめればいいのか」などを見直しましょう。特に、古文漢文は読み慣れることが大切です。問題演習を繰り返すことで完璧にしましょう。現代文は意味が分からないと言う人が多いようです。意味のわからない語句は調べ、段落ごとの要点を確認し、文章の全体の流れを把握するようにしましょう。特に作文は実際に書いて添削してもらう事で得点源になります。

社会

今の高校入試では知識力を問うより考察する力を問う問題が多く出題されている傾向があります。もちろん基本的な知識は必要ですが、図表や地図などから読みとれることを記述させる問題が多く出題され配点も高くなっています。歴史においてもなぜこのような事件や戦争が起きたかなど歴史上の出来事の因果関係を考察させるような問題が出題されています。普段の勉強から覚えるだけでなく因果関係もおさえられるようにしましょう。

英検対策

英検は現在、中学受験から高校受験、大学受験、就職等までの幅広い段階で重要視されています。ですから早いうちからの英検取得には大きなメリットがあると考えられています。英検を取得するには、まず基本的な単語力・文法・読解力を身につけなければなりません。教科書だけではマスターできない知識も必要とされるため、過去の問題を解きながら、出題形式に慣れていくことが英検取得のカギとなるでしょう。そのためにも語いや慣用表現等は毎日継続して覚えていくようにしましょう。さらにリスニング問題も出題されます。ネイティブスピーカーが話す英語を普段聞く機会が少ないために単語の発音・アクセント等に戸惑ってしまいがちですが、何度もCDを聞いて流れてくる英文に耳で慣れていくようにしましょう。どの級もバランスのとれた英語力が要求されるので、

受験勉強も本腰を入れて取り組む時期ですが、学習方法に不安がある人、効率の良い学習方法を探している人が多いようです。そこで、一橋の講師陣による「科目別学習法」を作成しました。学習計画に取り入れ、より一層の成績向上

数学

高校入試において数学の難易度は他の科目に比べて高くなっています。だからと言って大変だと考える必要はありません。逆にチャンスだと言えます。なぜなら難易度が高いということは平均点も低いのです。そのため数学で高得点を取れば他の科目よりプラスできる点数が多くなります。普段の勉強から基本をおさえた後に受験レベルの問題をこなすようにして難易度の高い問題にチャレンジして受験では高得点を取れるようにしましょう。

理科

中学校の理科では様々な分野を取り扱っていきますので、幅広い知識が必要となります。日頃から科学に関心をもって学習し、単元ごとの重要事項をまとめていくように心がけましょう。とくに群馬県の公立入試などでは記述形式の問題を出題されることが多いので、その対策として、用語をただ暗記するのではなく、その用語について説明ができるようにしながら覚えていくと良いでしょう。またグラフや表、図を使った問題にも慣れておくことが大切です。学校で行う実験に積極的に参加し、実験の手順や目的を理解できるよう取り組み、なぜそのような結果になるのか考える習慣をつけましょう。実験結果を利用した計算問題については、初めのうちは難しいと感じるかもしれませんが、できる

自校対策入試

自校入試とは公立高校の中で他の高校と同じ共通の問題だけでなく、その高校が独自に作った問題を解かせる入試のことです。科目や配点や問題形式は高校によって様々なので自分の志望する高校で自校入試が行われる場合にはどのような問題が出題されているか過去問でチェックしておくことが必要です。特に英語に関しては自由英作文が多く出題されているので英作文の練習は心がけてください。

